

Nichimo

PLASTIC COLOR MODEL

1/48 IDENTICAL SCALE SERIES NO.18

# Japanese Army Type 99 Assault (Reconnaissance) Plane

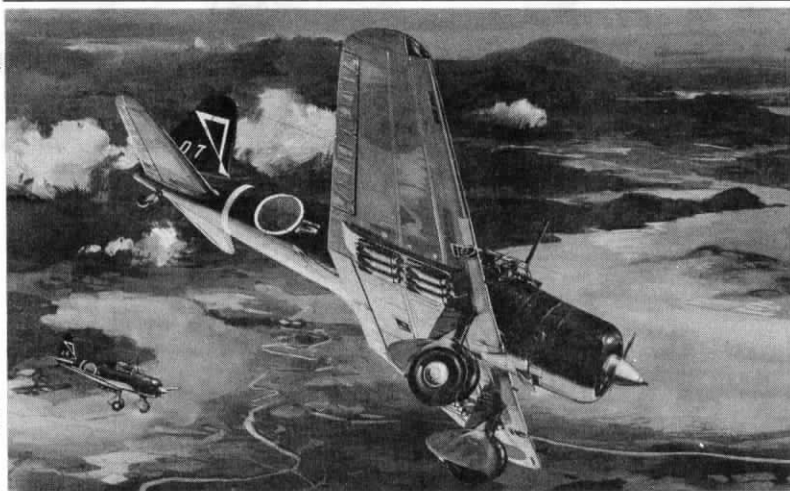
# SONIA Mitsubishi Ki-51

★1/48完全スケールシリーズNO.18★

## 日本陸軍九九式軍偵察機 / 襲撃機・組立説明図

日本模型株式会社

本社・栃木県佐野市久保町135  
出張所・東京都台東区浅草7-2-2



部品を取出した空袋は、幼児がかぶったりしないように取りすててください。

**接着剤品質表示**

●結晶の手の届かないところに使用し、いたすりに注意し、揮発用は外に揮発しないこと。  
●火気注意  
●有機溶剤が含まれているので、薬用して匂うと有害で、(せ)にしろ健康を害することがあるので取扱いに当たらないこと。

取組上の注意

表示者

52-3000 52-3022

**日本陸軍九九式軍偵察機について**

九九式軍偵察機は、先に開発した九九式襲撃機の機装を一部変更したもので、外観上で区別することはできない。この機体は1938年2月に開発が始められ、1939年6月に試作第一号機が完成した。テストの結果は満足できるもので、主翼前縁のスロット装備、機体下面に装甲板を施すこと

で1940年より量産が行われた。

実戦部隊に配備された九九軍偵は、実用性能がよく好評で、日支事変末期から第二次大戦の全期間にわたり、支那大陸、マレー、ビルマ、フィリピン、南方各地で活躍した。しかし作戦の目的が地上軍との協力にあるので、目立つ戦果はないが陸軍の将兵からは最も信頼された傑作機だった。

《パーツリスト》

①A パーツ

1	エンジン減速機室	1
2	車輪(外)	2
3	#(内)	2
4	水平尾翼(左上)	1
5	#(左下)	1
6	脚カバー(右外)	1
7	#(左外)	1
8	#(右内)	1
9	#(左内)	1
10	射撃用足掛(A)	2
11	#(B)	2
12	#(C)	2
13	同乗者腰掛(上)	1
14	12.7ミリ固定機銃	1
15	15キロ爆弾懸吊架(右)	1
16	#(左)	1
17	特殊爆弾懸吊架	2
18	モーター用床板	1
19	12.7ミリ固定機銃	4
20	写真格納箱	2
21	1号自動航空写真機	1
22	96式小型	1
23	防弾板	1
24	水平尾翼(右下)	1
25	#(右上)	1
26	プロペラシャフト	1
27	カウリング(前)	1
28	射撃鏡査写真機	1
29	カウリング(右)	1
30	#(左)	1
31	床板	1
32	防火壁	1

①B パーツ

1	エンジン(後)	1
2	#(前)	1
3	酸液ポンペ	1
4	エンジン部品	1
5	同乗者腰掛(左)	1
6	#(右)	1
7	酸液ポンペ	1
8	方向舵ペダル(左)	1
9	#(右)	1
10	50キロ爆弾フィン枠	4

11	副操縦桿	1
12	副方向舵ペダル	2
13	滑油タンク	1
14	吸気調整レバー	1
15	50キロ爆弾フィン	4
16	空中線支柱	1
17	固定無準眼鏡	1
18	ピトー管	1
19	7.7ミリ旋回機銃	1
20	排気管	1
21	プロペラ	1
22	モーター用エンジン	1
23	爆弾操作器	1
24	配電盤	1
25	エンジン架(B左)	1
26	#(右)	1
27	操縦桿	1
28	15キロ爆弾	12
29	予備弾倉(A)	2
30	オイルタンク	1
31	フラップ操作レバ	1
32	燃料調節レバ	1
33	予備弾倉(B)	8
34	50キロ爆弾	4
35	小型照明弾	6
36	15キロ爆弾おさえ	24
37	エンジン架	1
38	吸気管	1
39	電圧調整器	1
40	偵察カバン	1
41	50キロ爆弾おさえ	8
42	無線器	1
43	写真用乾板入	1
44	計器板	1
45	スピナープレート	1
46	スピナー	1
47	同乗者計器板	1
48	操縦席	1
49	操縦士	1
50	偵察兼射手	1
51	吸気口	1
52	排気管	2

①C パーツ

1	風防(前)	1
2	#(後)	1
3	後部偵察窓	1
4	前部	1

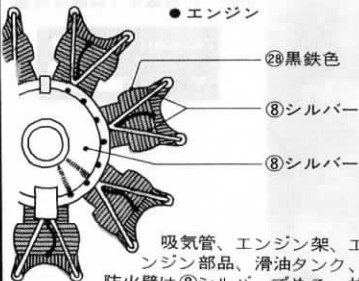
# 1

## エンジンと座席を組立てる。

ペビーモーターを使ってプロペラを回転させるときは、この組立てを省略して、つぎの説明から始める。

### 《塗装メモ》

#### ●エンジン



#### ●操縦士と偵察兼射手

服と帽子は⑤カーキ色、半長靴はこげ茶色、パラシュートのバンドは明るいグリーンでぬる。

#### ●機内の塗装

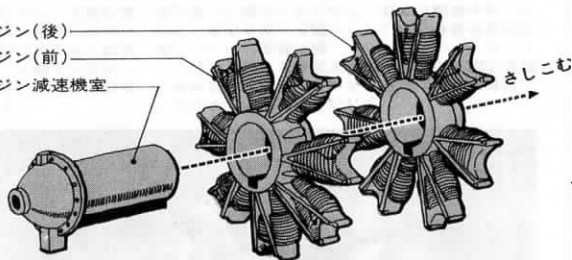
計器板は半ツヤの黒でぬり、計器は周囲をシルバーでふちどりしてアクセントをつける。……下に続く

### 1

B1 エンジン(後)

B2 エンジン(前)

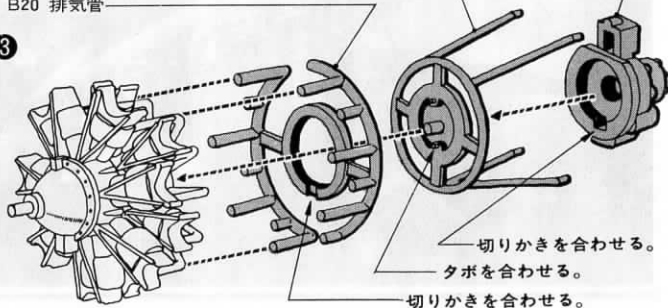
A1 エンジン減速機室



B37 エンジン架

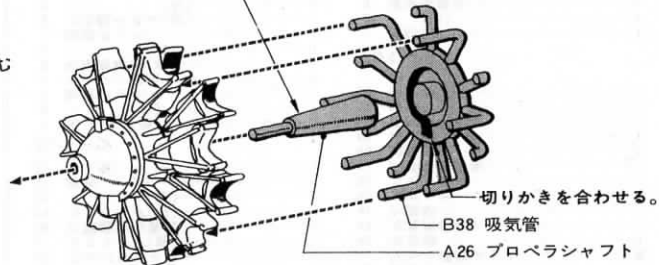
B20 排気管

### 3



### 2

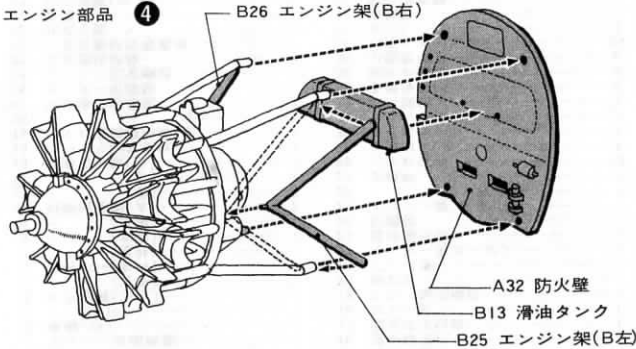
中にさしこむだけ。回転するように。



### 4

B4 エンジン部品

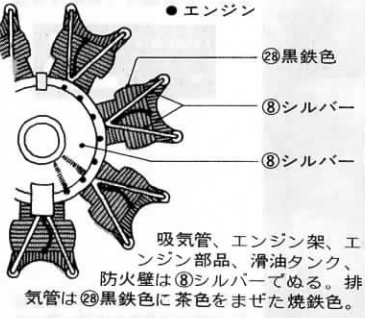
B26 エンジン架(B右)



# エンジンと座席を組立てる。

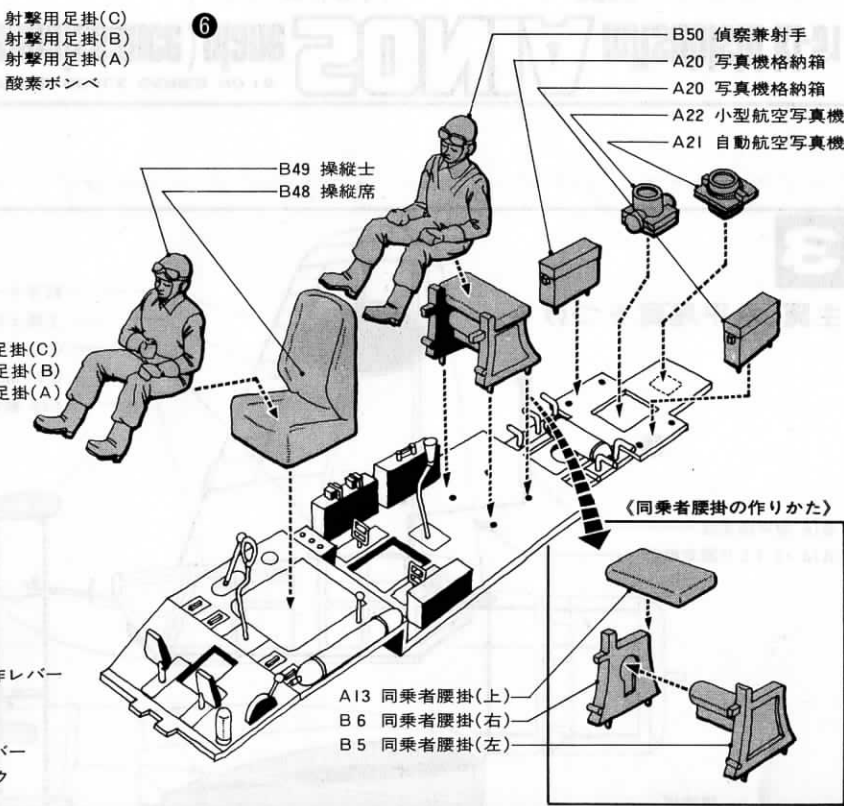
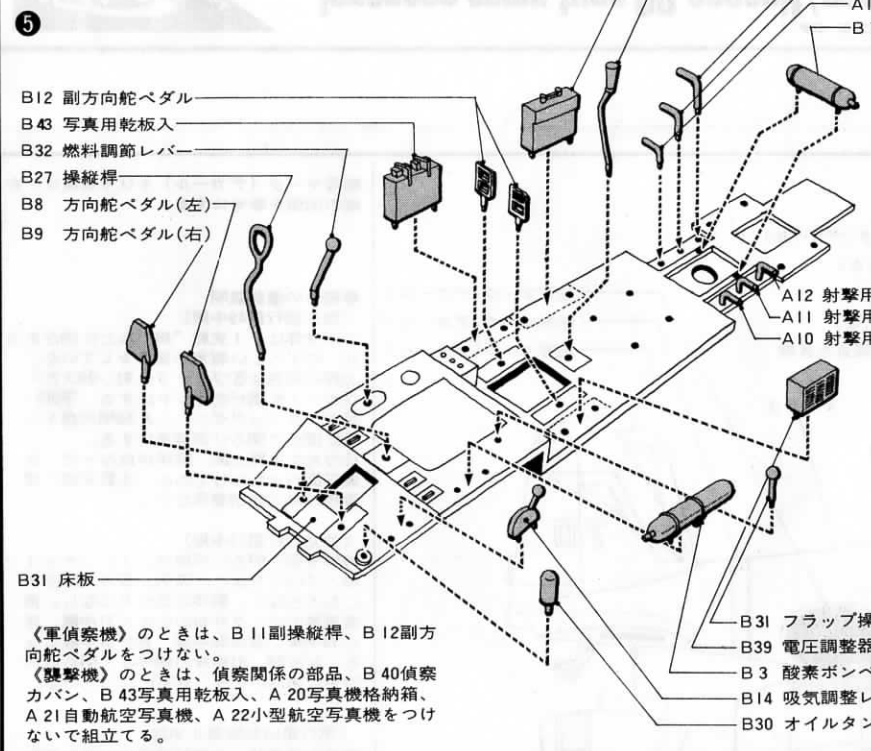
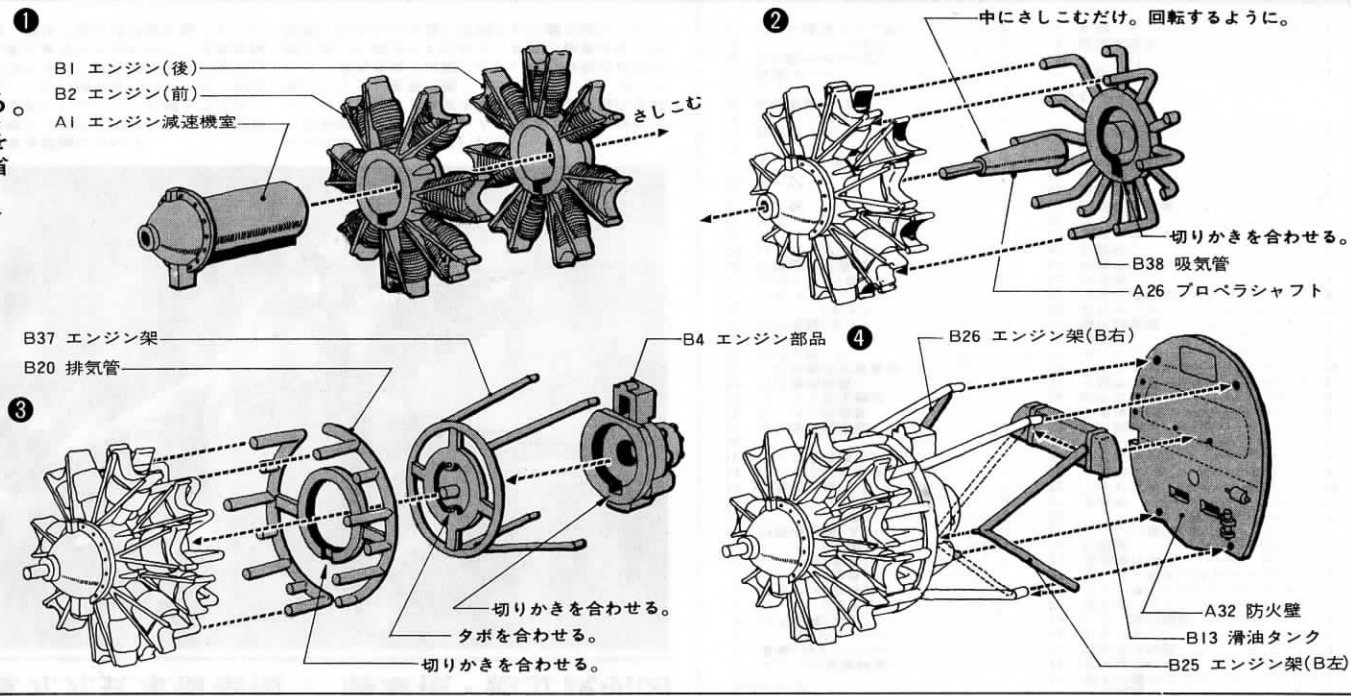
ペーパーモーターを使ってプロペラを回転させるときは、この組立てを省略して、つぎの説明から始める。

## 〈塗装メモ〉



●操縦士と偵察兼射手  
服と帽子は⑨カーキ色、半長靴はこげ茶色、パラシュートのバンドは明るいグリーンでぬる。

●機内の塗装  
計器板は半ツヤの黒でぬり、計器は周囲をシルバーでふちどりしてアクセントをつける。……下に続く



# Motorize

## ベビーモーターの つけかた。

A29 カウリング(右)

B22 モーター用エンジン

A27 カウリング(前)

A30 カウリング(左)

### 〈塗装メモ〉

床板と機体の内側は⑦青竹色でぬる。操縦桿、副操縦桿は青竹色でぬり、にぎりの部分を黒かこげ茶の皮巻きにする。

操縦席はこげ茶色、同乗者腰掛は台を青竹色にし、シートをこげ茶色でぬる。方向舵ペダル、射撃用足掛は⑧黒鉄色でぬる。

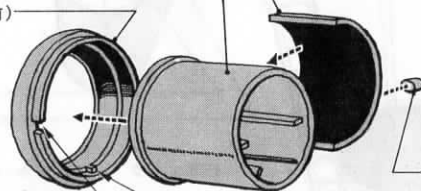
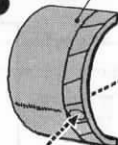
B 40偵察カバン、B 43写真用乾板入、A 20写真機格納箱は⑧シルバーでぬる。

A 21自動航空写真機、A 22小型航空写真機は明るいグレーでぬる。

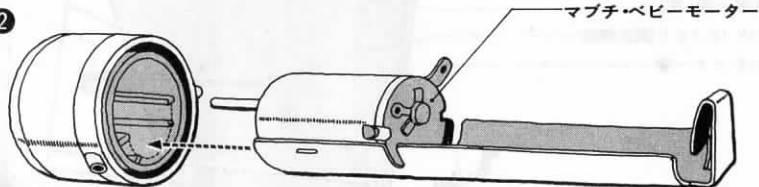
床板の操縦桿のつけ根、方向舵ペダルのつけ根は黒でぬり、ゴムカパーの感じを表現する。

酸素ポンベはシルバーでぬる。その他の部品は黒、黒鉄色、シルバーでぬりわけ、機内に変化をつける。

①



②



マブチベビーモーター

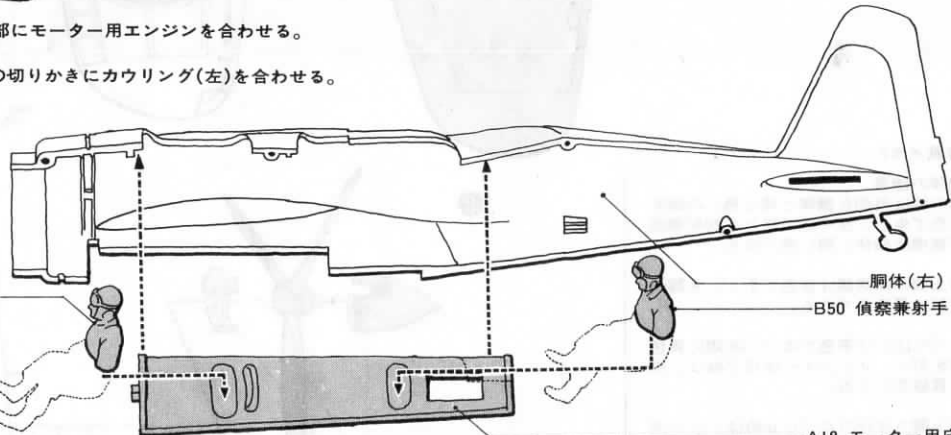
B52 排気管

凸部にモーター用エンジンを合わせる。

この切りかきのカウリング(左)を合わせる。

B52 排気管

③



B49 操縦士

胴体(右)

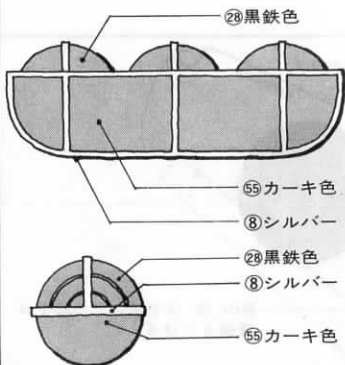
B50 偵察兼射手

操縦士、偵察兼射手は点線のところを切りすてて床板につける。

A18 モーター用床板

胴体を組立てる。

〈塗装メモ〉  
●予備弾倉



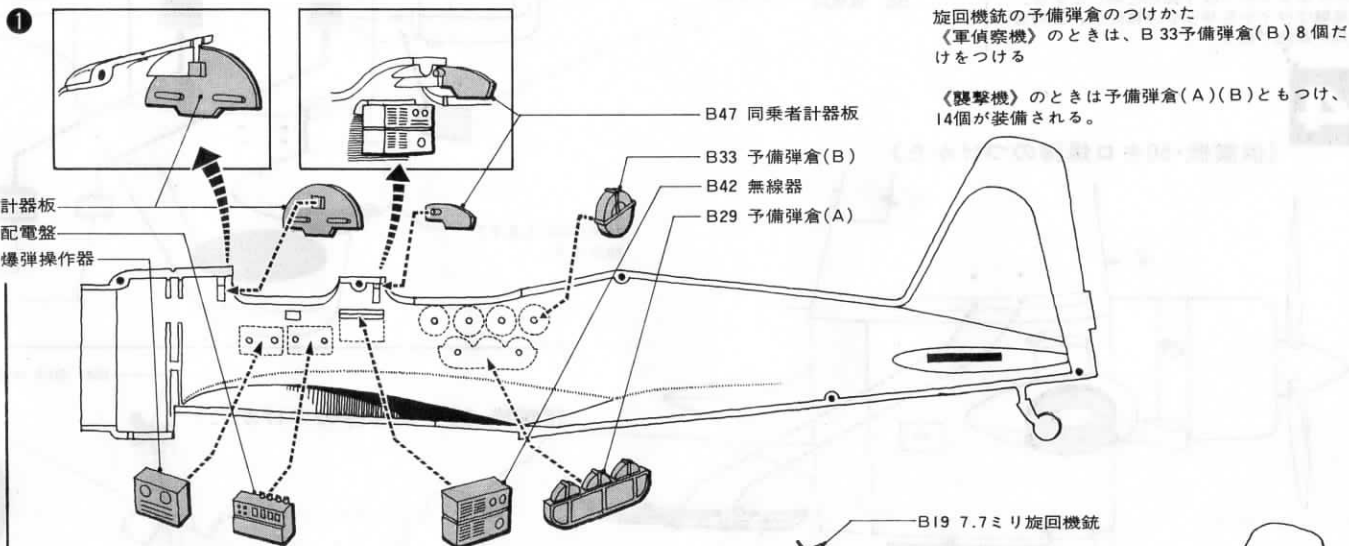
予備弾倉は金枠の中に布製の袋をつけて弾倉を格納した。布製の袋はツヤ消しのカーキ色にする。

旋回機銃は②黒鉄色でぬる。

排気管は黒鉄色に茶色をまぜた焼鉄色でぬる。

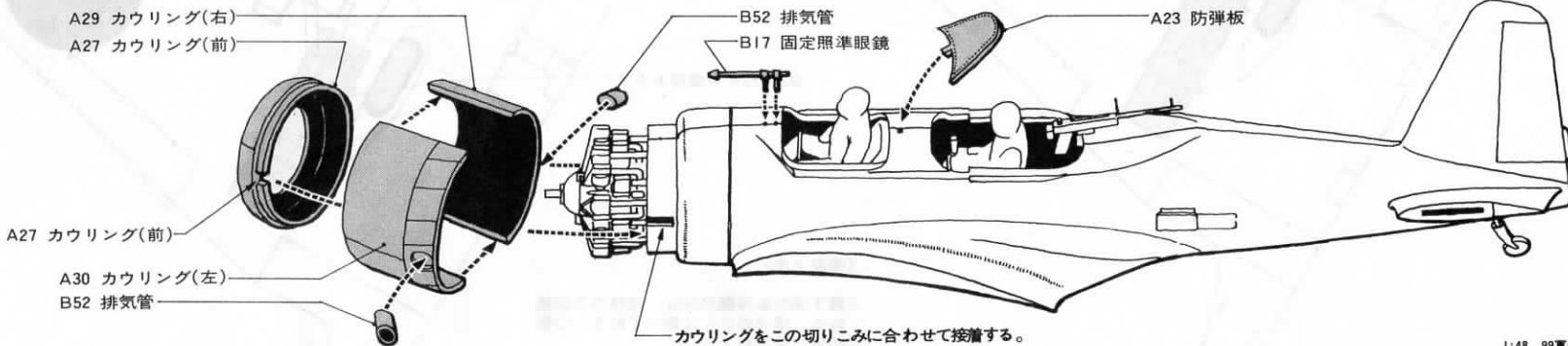
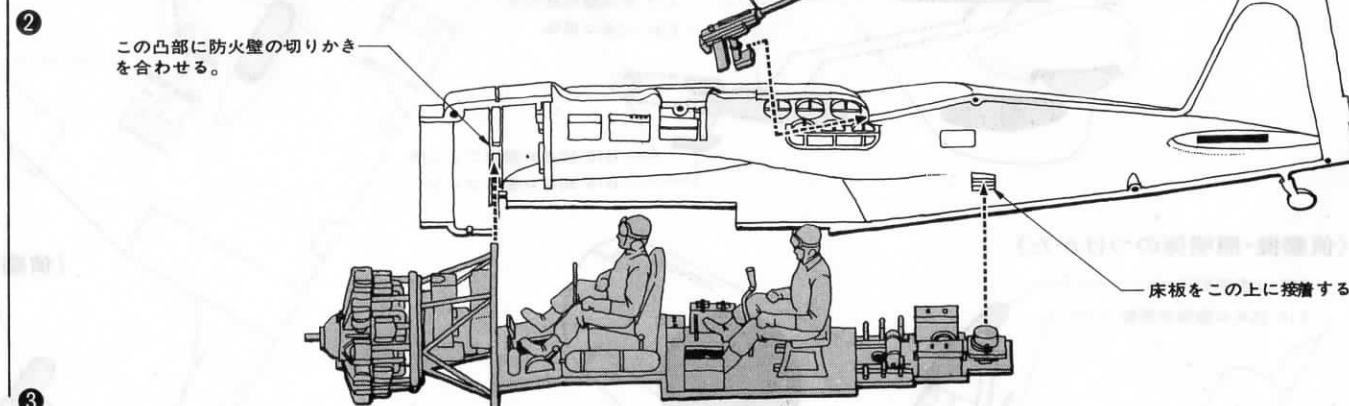
風防の中の胴体上部と防弾板は⑤青竹色でぬる。

固定照準眼鏡はツヤ消しの黒でぬる。



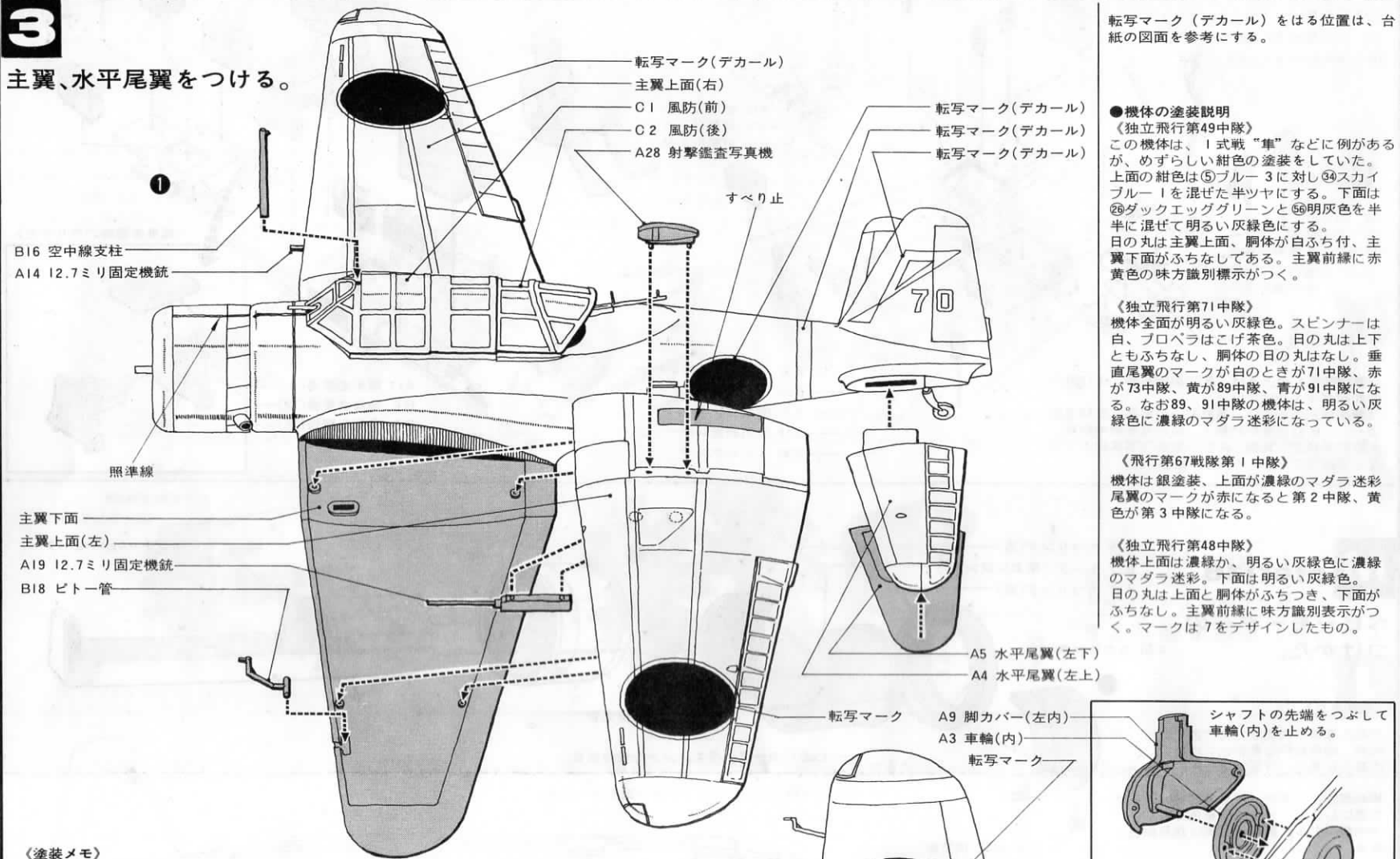
旋回機銃の予備弾倉のつけかた  
《軍偵察機》のときは、B33予備弾倉(B)8個だけをつける

《襲撃機》のときは予備弾倉(A)(B)ともつけ、14個が装備される。





## 主翼、水平尾翼をつける。



## 《塗装メモ》

## ●機体の塗装

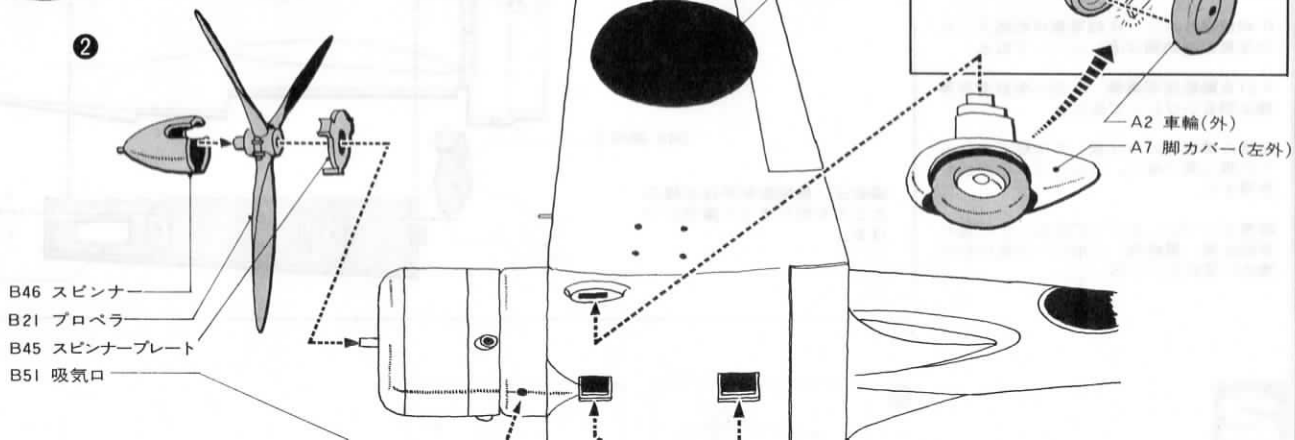
風防の枠は外面を機体と同じ色、内面を青竹色でぬる。空中線支柱とA28射撃鑑査写真機は機体と同じ色でぬる。

機首上面の照準線は赤色で引く。主翼の固定銃は黒鉄色でぬる。

プロペラはこげ茶色でぬり、先端に黄色の線を引く。スピナーは白でぬり、先端を黒鉄色にする。

主翼上面つけ根のすべり止めは、ツヤ消しの黒でぬる。翼端灯は右をグリーン、左を赤でぬる。

主脚の車輪はタイヤを半ツヤの黒にし、ホイールキャップは下面色と同じにする。尾輪はタイヤを半ツヤの黒にし、支持金具を銀色でぬる。



転写マーク(デカール)をはる位置は、台紙の図面を参考にする。

## ●機体の塗装説明

《独立飛行第49中隊》  
この機体は、1式戦“隼”などに例があるが、めずらしい紺色の塗装をしていた。上面の紺色は⑤ブルー3に対し④スカイブルー1を混ぜた半ツヤにする。下面は②ダックエッググリーンと⑥明灰色を半半に混ぜて明るい灰緑色にする。日の丸は主翼上面、胴体が白ふち付、主翼下面がふちなしである。主翼前縁に赤黄色の味方識別表示がつく。

## 《独立飛行第71中隊》

機体全面が明るい灰緑色。スピナーは白、プロペラはこげ茶色。日の丸は上下ともふちなし、胴体の日の丸はなし。垂直尾翼のマークが白のときが71中隊、赤が73中隊、黄が89中隊、青が91中隊になる。なお89、91中隊の機体は、明るい灰緑色に濃緑のマダラ迷彩になっている。

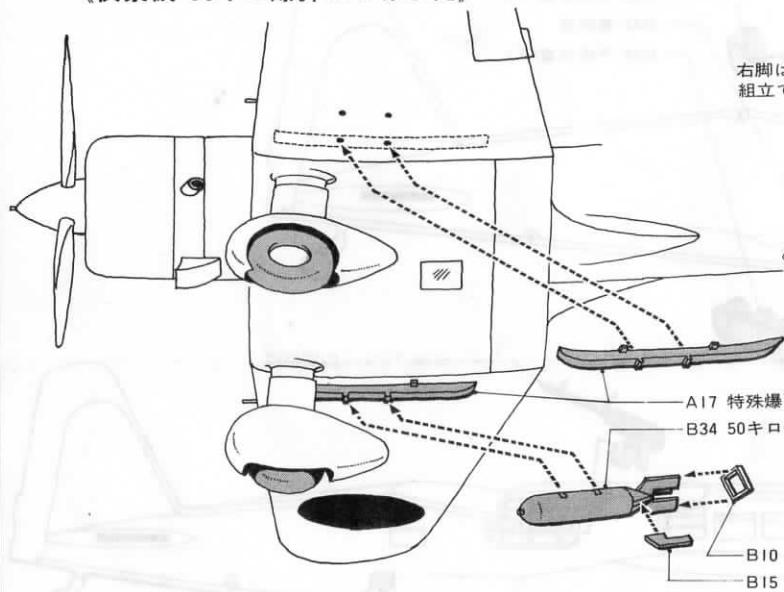
## 《飛行第67戦隊第1中隊》

機体は銀塗装、上面が濃緑のマダラ迷彩。尾翼のマークが赤になると第2中隊、黄色が第3中隊になる。

## 《独立飛行第48中隊》

機体上面は濃緑か、明るい灰緑色に濃緑のマダラ迷彩。下面は明るい灰緑色。日の丸は上面と胴体がふちつき、下面がふちなし。主翼前縁に味方識別表示がつく。マークは7をデザインしたものの。

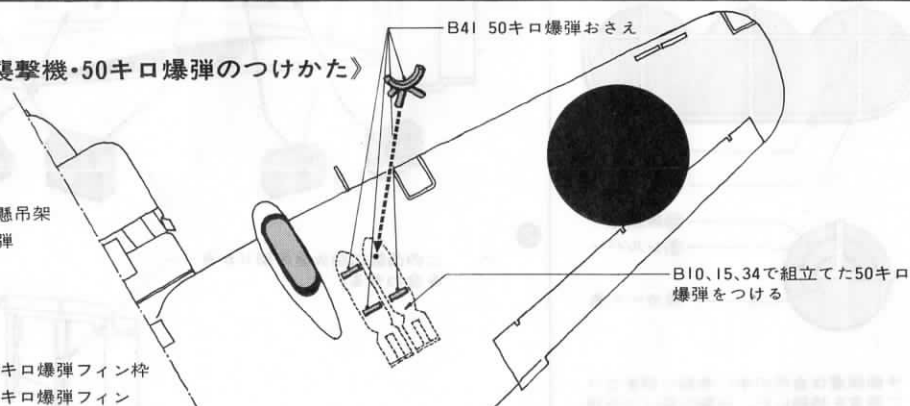
### 《偵察機・50キロ爆弾のつけかた》



右脚はA2,3,6,8で組立てる。

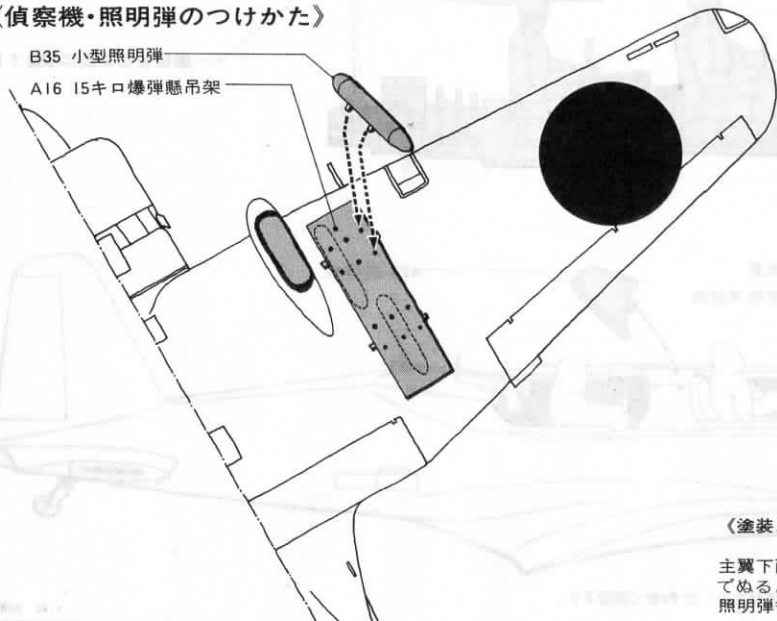
C3 後部偵察窓  
C4 前部偵察窓

### 《襲撃機・50キロ爆弾のつけかた》

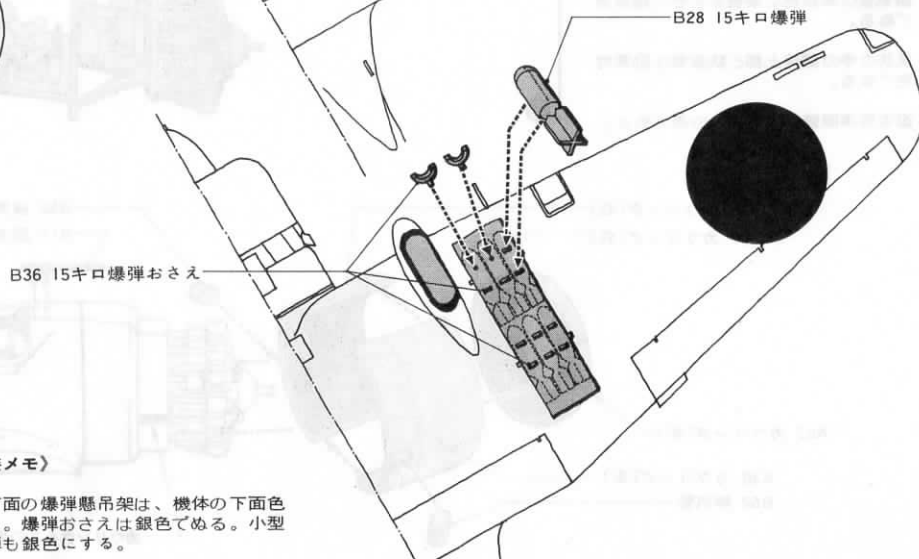


### 《偵察機・照明弾のつけかた》

B35 小型照明弾  
A16 15キロ爆弾懸吊架



### 《偵察機・15キロ爆弾のつけかた》



### 《塗装メモ》

主翼下面の爆弾懸吊架は、機体の下面色でぬる。爆弾おさえは銀色でぬる。小型照明弾も銀色にする。

# 旧日本陸軍九九式軍偵察機 / 襲撃機

